

糖尿病対策専門委員会

(平成30年度)

糖尿病対策専門委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 糖尿病対策専門委員会

委員長 米田 真康

I. 年間活動概要

(1) 2017年度に策定した第7次保健医療計画(2018~2023年)の内容について確認し、(2)糖尿病医療に係る医療連携体制の構築のために、「糖尿病診療拠点病院」「糖尿病診療中核病院」の存在する地域と存在しない地域とで各々異なる医療連携の方法、そして、(3)災害時における医療機関の連絡・協力体制、の主に3点について下記の日程で協議した。

第1回：2018年10月24日(水)

(1) 第7次広島県保健医療計画における糖尿病対策
①「糖尿病診療拠点病院」および「糖尿病診療中核病院」の指定

二次保健医療圏域(広島、広島西、呉、広島中央、尾三、福山・府中、備北)毎に、少なくとも1つ以上の糖尿病医療連携の中心を担う医療機関を設置し、広島県糖尿病診療拠点病院等指定要綱を定め、広島県知事の認定により、2018年4月1日付で「糖尿病診療拠点病院」8施設、「糖尿病診療中核病院」9施設を指定した。

②糖尿病の医療連携体制を担う医療機関の公表

広島県庁のホームページ(HP)において、糖尿病の医療連携体制を担う医療機関として、「糖尿病診療拠点病院」「糖尿病診療中核病院」の名称と医療機能の一覧を掲載することとした。また、医療機能のうち「教育治療」「専門治療」を担う医療機関として日本糖尿病学会認定の「糖尿病専門医」の一覧を、「初期・安定期治療」あるいは「歯周病治療」を担う医療機関として日本糖尿病協会認定の「療養指導医」や「登録歯科医」の一覧を閲覧できるよう、それぞれ広島県庁のHPから日本糖尿病学会や日本糖尿病協会のHPにリンクできるよう掲載することが承認された。

(2) 糖尿病医療に係る医療連携体制の構築について
「糖尿病診療拠点病院」および「糖尿病診療中核病院」を医療連携の中心とし、各地域でかかりつけ医や医療スタッフとの連携強化と役割分担を明確化し、診療・療養指導のレベルアップを図るための勉強会(症例検討会など)を定期的に開催することが協議された。先駆けて地域医療連携パスを導入し、10年が経過した広島西圏域(廿日市周辺)における医療連携体制について、JA広島総合病院糖尿病センターの石田和史委員より報告があった。

また、各圏域内において「糖尿病診療拠点病院」や「糖尿病診療中核病院」の存在しない地域が県東部や北部、島しょ部に散在していることに対して、米田委員長より、IoTやICT、人工知能を活用した生活習慣の遠隔介入による新たな医療連携体制の展望について説明があった。

(3) 災害時における医療機関の連絡・協力体制について

7月の豪雨災害を受けて、日本糖尿病学会や日本糖尿病協会から広島県の被害状況についての問い合わせが山根公則委員にあり、米田委員長より各医療機関の医師に一斉メール連絡したところ、インスリンなどの糖尿病薬剤の不足はなく、供給体制は保たれていた。広島県における災害時の医療体制や医薬品の供給などについては、地対協の救急・災害医療体制検討専門委員会においてマニュアルが作成されており、県、医師会、広島大学、関係団体による支援・協力体制が整備されていることが確認された。

(4) その他：「糖尿病腎症重症化予防プログラム」について

広島県の糖尿病対策の推進に向けて、プログラムに参加する糖尿病患者を増やすため、各地域において患者やかかりつけ医、医師会への取り組みの啓発や参加依頼を呼び掛けることとした。

広島県地域保健対策協議会 糖尿病対策専門委員会

委員長	米田 真康	広島大学大学院医歯薬保健学研究科糖尿病・生活習慣予防医学
委員	石田 和史	JA広島総合病院
	今岡 寛之	広島県健康福祉局地域包括ケア・高齢者支援課
	太田 逸朗	広島西医療センター
	大本 崇	広島県医師会
	岡村 緑	呉共済病院
	亀井 望	広島赤十字・原爆病院
	岸本 瑠衣	東広島医療センター
	國田 哲子	広島県医師会
	久保 敬二	県立広島病院
	久保田益亘	呉医療センター・中国がんセンター
	志和 亜華	広島市立安佐市民病院
	杉廣 貴史	市立三次中央病院
	東儀 宣哲	三原市医師会
	中島浩一郎	庄原赤十字病院
	中元 美恵	広島県看護協会
	沼尾 雄一	広島県栄養士会
	箱田 知美	日本鋼管福山病院
	久岡 桂子	広島市健康福祉局保健部保健医療課
	日野 文明	JA尾道総合病院
	平田 教至	福山市医師会
	藤川 るみ	グランドタワーメディカルコート
	槇田 隆二	東広島地区医師会
	水木 一仁	広島市立広島市民病院
	山中 史教	広島県歯科医師会
	山根 公則	NTT西日本中国健康管理センタ
	吉田亜賀子	広島県薬剤師会